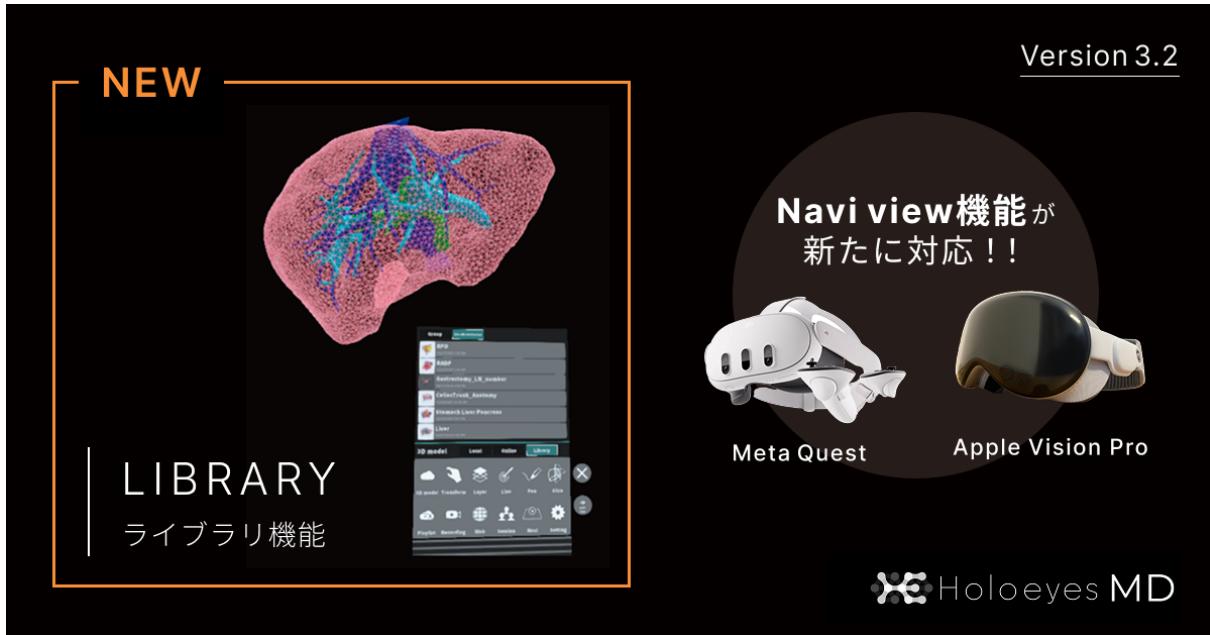


Holoeyes、医療用画像処理ソフトウェア「Holoeyes MD」最新 Ver. 3.2 をリリース

施設間で症例共有を可能にする「Library 機能」を搭載し、医療知見のプラットフォームへ

2026年1月27日（火）Holoeyes 株式会社



Holoeyes 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：杉本 真樹、以下「Holoeyes」）は、医療用画像処理ソフトウェア「Holoeyes MD（※）」の最新バージョン（Ver. 3.2）を2026年1月27日にリリースしました。

本アップデートでは、施設を越えて3Dモデルの閲覧を可能にする「Library機能」を新たに実装しました。これにより Holoeyes MD は、個別の診療支援ツールとしての枠を超えて、医療知見を共有・循環させるプラットフォームとしての新たな価値を提供します。また同時に、「Navi view機能」のマルチデバイス対応（Apple Vision Pro, Meta Quest 等）を拡充し、最新のXR技術を活用した、より円滑な医療支援環境を実現いたします。

背景と目的

Holoeyes MD は、CT や MRI 等の医用画像をクラウド上で空間コンピューティングに対応した3Dモデルへ変換し、仮想空間および現実空間に表現する医療機器認証を受けた医療用画像処理ソフトウェアです。外科領域を中心に術前シミュレーションなどの診療を支援するツールとして活用されています。

これまでではサンプルモデルと自施設で登録したデータのみが閲覧対象でしたが、このたびの「Library機能」実装により、患者様から二次利用許諾を得た他施設の3Dモデルも閲覧可能となりました。

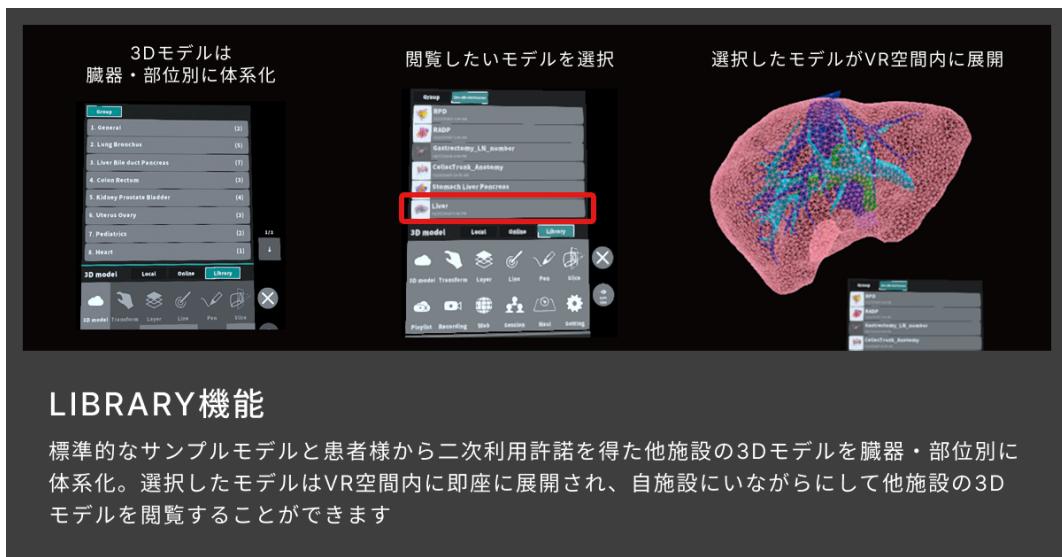
医療の質向上には、個々の医師の経験に留まらず、貴重な症例や術前検討などの知見を広く共有することが重要です。今回の Library 機能実装により、Holoeyes MD は単なる「3D モデル作成・閲覧

ツール」を超える、医療知見が循環する「医療知見のプラットフォーム」としての新たな一歩を踏み出します。

Ver. 3.2 アップデートのポイント

1. Library 機能の拡充：施設を越えた医療知見の共有

これまで提供していた標準的なサンプルモデルに加え、患者様から第三者提供への同意（二次利用許諾）を得た他施設の3Dモデルを、クラウド経由で閲覧できるようになりました。これにより、より多様な症例の3Dモデルを自施設にいながらにして参照することが可能となります。



LIBRARY機能

標準的なサンプルモデルと患者様から二次利用許諾を得た他施設の3Dモデルを臓器・部位別に体系化。選択したモデルはVR空間内に即座に展開され、自施設にいながらにして他施設の3Dモデルを閲覧することができます

2. Navi view 機能の対応拡大：最新デバイスによる円滑な視点共有

Navi view 機能が Apple Vision Pro、Meta Quest シリーズに対応しました。高解像度なパススルー（外画透過）機能を備えた最新デバイスへの対応により、現実空間と3D情報をより自然に融合させた、より多角的な視点での検討が可能なシミュレーション環境を提供します。



Navi view機能

3Dモデルの全体像と閲覧者の視点および視線の方向が矢印で表示されるため、3Dモデルの「どの位置を」「どの方向から」見ているのかをリアルタイムで確認することができます

【Navi view 機能の特徴】

本機能では、3D モデルの「全体像」と「注視したい拡大モデル」の並列表示が可能です。全体像には、閲覧者の視点位置と視線方向がリアルタイムに可視化されるため、「今、臓器のどの部分を、どの角度で見ているか」を客観的に把握・共有できます。

※一般的な名称：汎用画像診断装置ワークステーション用プログラム、販売名：医療用画像処理ソフトウェア Holoeyes MD、クラス分類：クラスII(管理医療機器)、認証番号：302ADBZX00011000、認証日：令和2年2月28日

Holoeyes について

「医用画像と医療知見を空間的に再現・共有し医療の最適化を実現する」をミッションに掲げ、2016年に設立。医用画像を3次元表示する医療用画像処理ソフトウェア「Holoeyes MD」をはじめ、医療領域における、臨床・トレーニング・教育向けのVRアプリ等開発及びデータ提供サービス事業を開拓。さらに、XRコンテンツ受託制作から運用ソリューションを一気通貫でサポートする法人向けサービス「Holoeyes Biz」を2024年末より開始する他、サウジアラビア等、中東を含む海外事業にも注力するなど、国内外での社会実装を推進している。



Holoeyes 株式会社

所在地：東京都港区南青山2-17-3 モーリンビル 303

設立：2016年10月

代表者：代表取締役 杉本 真樹

資本金：100,000,000円

事業内容：

- 医療用画像処理ソフトウェア開発・販売
- 医療系企業向けVR/AR プラットフォームの開発・提供

WEB：<https://holoeyes.jp/>